

(注意)

LAN環境への接続がある場合、サポートセンターでのサポートは行っておりません。

Windows2000の接続サポートについてはFAXBOX(設定マニュアル)によるサポートになります。

モデム正常動作の確認方法

- 「マイコンピュータ」クリック
- 「コントロールパネル」クリック
- 「電話とモデムのオプション」をクリックします。

正常動作の確認するモデム名を選択(該当モデム名が無い場合は標準モデム)し「プロパティ」ボタンをクリックします。

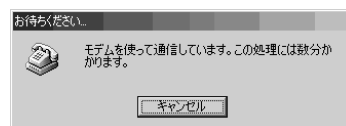
(注意)モデム名が表示されていない場合はモデムが認識されていません。正しく認識させるためにはWindows2000用のドライバーが必要です。詳しくは製造メーカーへお問い合わせください。

モデムのプロパティ画面上部にある「診断」をクリックし、「モデムの照会」ボタンをクリックします。

モデム動作確認の通信を数秒間行います。

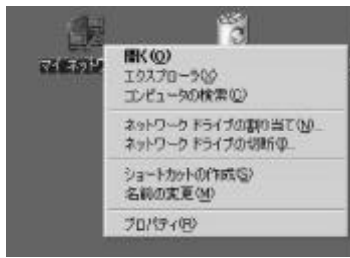
通信が終了すると2段目の枠にコマンドと応答内容が表示されていればモデムは正常動作しています。

(注意) 応答の欄にNGが多数ある場合はWindows2000対応のモデムドライバーを製造メーカーより入手し更新してください。



ダイヤル種別設定確認方法

「マイネットワーク」アイコンを右クリックし表示されたメニューのプロパティを選択してください。



「規則」ボタンをクリックします。



ダイヤルアップ接続のウィンドウが表示されます。 ODNへの接続アイコンを右クリックし表示されたメニューのプロパティをクリックします。

ここで表示されたウィンドウでダイヤル方法の確認ができます。 お客様のダイヤル種別と同じ項目（トーンまたはパルス）にチェックされているか確認してください。

「編集」ボタンをクリックします。

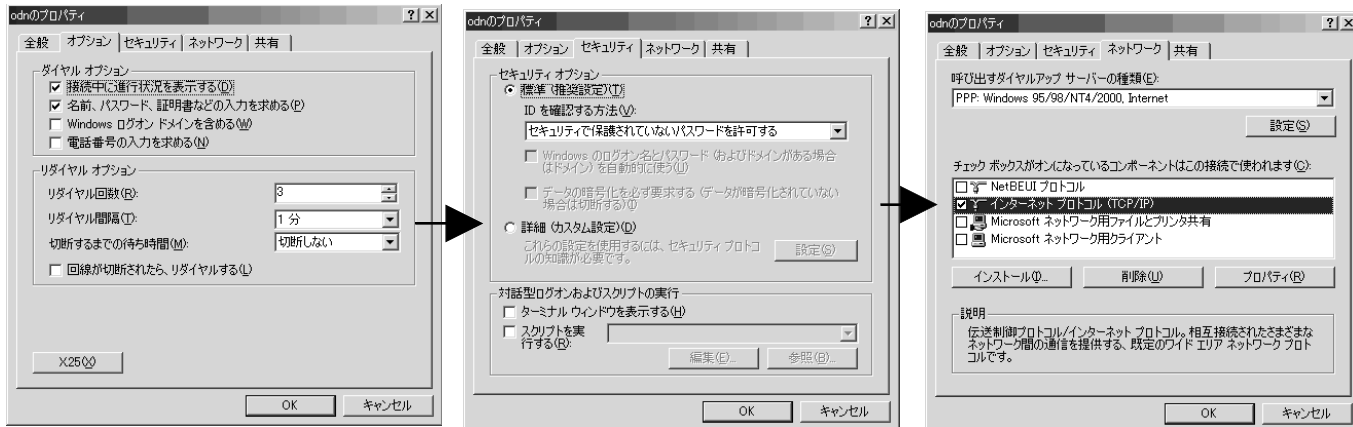


接続時に認証エラーが発生する場合の設定確認方法

接続 ID・接続パスワードが間違っていないか再度確認してください。次に新しくダイヤルアップ接続アイコンを作成し、接続できるか確認してください。

ダイヤルアップ接続のプロパティ画面を開きます。

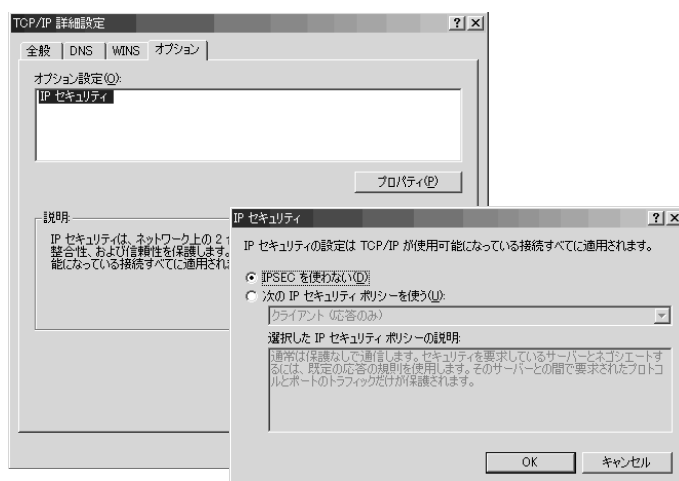
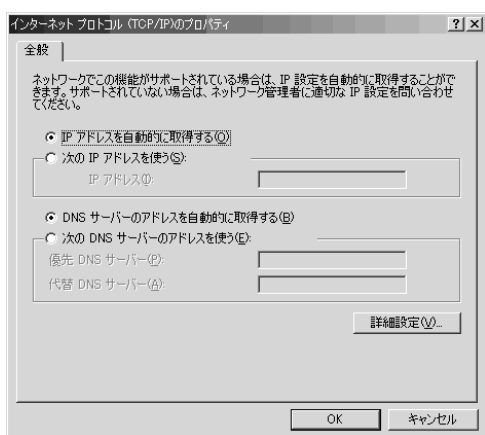
「マイネットワーク」右クリック「プロパティ」 ODNへの接続アイコンを右クリック 「プロパティ」クリック



「オプション」画面を開きダイヤルオプションの枠で「Windows ログオンドメインを含める」にチェックが無いことを確認してください。

セキュリティ画面では「標準」が選択されている事とID確認する方法が「セキュリティで保護されていないパスワードを許可する」に設定されていることを確認してください。

ネットワーク画面では「ダイヤルアップサーバーの種類」に ppp : Windows95/98/NT4/2000 が選択されているか確認してください。コンポーネントのチェックは「インターネットプロトコル(TCP/IP)」のみになっている事を確認します。

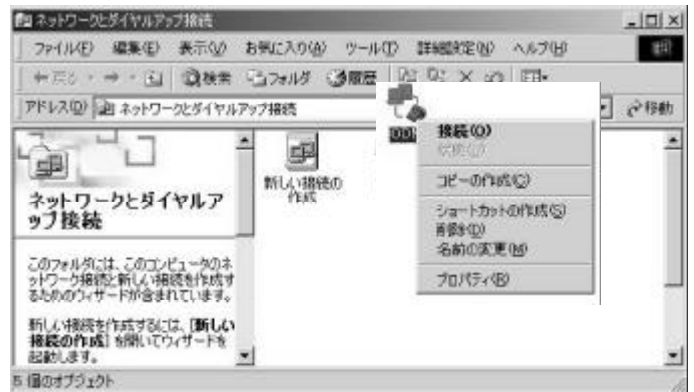
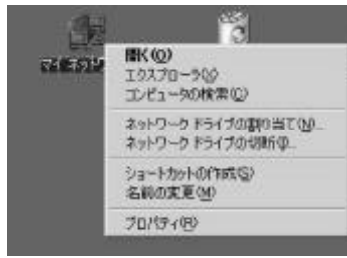


インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ画面を開き「IPアドレスを自動的に取得する」が選択されていることを確認します。「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する。」が選択している事を確認してください。設定を確認後「OK」をクリックします。

TCP/IPのプロパティ画面から「オプション」を選択し「プロパティ」ボタンをクリックします。IPセキュリティ画面で「IPSEC を使わない」が選択されていることを確認してください。

アクセスポイント電話番号の確認方法

「マイネットワーク」アイコンを右クリックし表示されたメニューの「プロパティ」を選択してください。



ダイヤルアップ接続のウィンドウが表示されます。 ODNへの接続アイコンを右クリックし表示されたメニューの「プロパティ」をクリックします。

ここで表示されたウィンドウでアクセスポイントの電話番号が確認できます。電話番号が間違っている場合は修正した後「OK」ボタンをクリックしてください。



リダイヤル回数及び無通信時自動切断の設定確認方法

アクセスポイント電話番号確認方法と同じようにダイヤルアップ接続のプロパティウィンドウを開てください。ウィンドウの上部にある「オプション」をクリックします。この画面でリダイヤル回数・間隔・自動切断するまでの待ち時間設定等の確認ができます。



接続ログ照会方法

コントロールパネルからモデムを選択し、「モデム」タグをクリック
確認したいモデムを選択し、「プロパティ」をクリックします。「診断」タグをクリック後「ログの照会」をクリックしてください。接続ログが表示されます。

通常、接続ログはOSインストールディレクトリー（¥WINNT 等）配下に「モデム名.log」の形式で保存されます。



```
ModemLog 標準 56000 bps V90 モデム... .log
02-08-2000 00:48:55,000 - 115200,8,N,1, ctsfl=0, rtsctl=1
02-08-2000 00:48:55,816 - モデムの初期化中です。
02-08-2000 00:48:55,826 - 送信: ATZ<cr>
02-08-2000 00:48:55,836 - 受信: <cr><lf>OK<cr><lf>
02-08-2000 00:48:55,836 - 変換した応答: OK
02-08-2000 00:48:55,846 - 送信: ATDV1&C1&D2S0<cr>
02-08-2000 00:48:55,846 - 受信: ATEW1&C1&D2S0<cr>
02-08-2000 00:48:55,846 - 変換した応答: OK
02-08-2000 00:48:55,846 - コマンド エコー
02-08-2000 00:48:55,846 - 送信: <cr><lf>OK<cr><lf>
02-08-2000 00:48:55,846 - 変換した応答: OK
02-08-2000 00:48:55,856 - 送信: ATM0Y4<cr>
02-08-2000 00:48:55,856 - 受信: <cr><lf>OK<cr><lf>
02-08-2000 00:48:55,856 - 変換した応答: OK
02-08-2000 00:48:55,856 - 呼び出しの準備中です。
02-08-2000 00:48:55,866 - 送信: ATD=1<cr>
02-08-2000 00:48:55,866 - 受信: <cr><lf>OK<cr><lf>
02-08-2000 00:48:55,866 - 変換した応答: OK
02-08-2000 00:48:55,866 - 115200,8,N,1, ctsfl=0, rtsctl=1
02-08-2000 00:48:55,866 - モデムの初期化中です。
02-08-2000 00:48:55,876 - 送信: ATZ<cr>
02-08-2000 00:48:55,876 - 受信: <cr><lf>OK<cr><lf>
02-08-2000 00:48:55,886 - 変換した応答: OK
02-08-2000 00:48:55,886 - 送信: ATEW1&C1&D2S0<cr>
02-08-2000 00:48:55,886 - 受信: ATEW1&C1&D2S0<cr>
02-08-2000 00:48:55,886 - 変換した応答: OK
02-08-2000 00:48:55,896 - コマンド エコー
```

